



安全データシート  
IRABOND BC50 RESIN.

項目1：化学品及び会社情報

1.1. 製品特定名

製品名 IRABOND BC50 RESIN.

製品番号 I002

1.2. 化学品の推奨用途及び使用上の制限

特定された用途 樹脂。

1.3. 安全データシートの供給者の詳細

供給者

ITW Performance Polymers  
Bay 150  
Shannon Industrial Estate  
Co. Clare  
Ireland  
V14 DF82  
353(61)771500  
353(61)471285  
mail@itwpp.com

1.4. 緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 +44(0)1235 239 670 (24h)

項目2：危険有害性の要約

2.1. 化学物質又は混合物の区別

物理化学的危険性 区分外

健康有害性 皮膚刺激性 区分2 - H315 眼に対する重篤な刺激性 区分2 - H319 皮膚感作性 区分1 - H317

環境有害性 水生環境有害性、慢性毒性 区分2 - H411

健康有害性 製品はエポキシ樹脂を含む。 敏感な個人に感作またはアレルギー性反応を引き起こすおそれがある。

2.2. ラベル要素

絵表示



注意喚起語

警告

## IRABOND BC50 RESIN.

### 危険有害性情報

H315 皮膚刺激。  
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。  
H319 強い眼刺激。  
H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

### 注意書き

P273 環境への放出を避けること。  
P280 保護手袋 / 保護衣 / 保護眼鏡 / 保護面を着用すること。  
P302+P352 皮膚に付着した場合: 多量の水と石けんで洗うこと。  
P305+P351+P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
P333+P313 皮膚刺激又は発疹が生じた場合: 医師の診断 / 手当てを受けること。

### 補足的なラベル情報

EUH205 エポキシ成分を含む。アレルギー性反応を起こすおそれ。

### 含有物

ポリ [ 2 - ( クロロメチル ) オキシラン - a l t - 4 , 4' - ( プロパン - 2 , 2 - ジイル ) ジフェノール ]

### 2.3. 他の危険有害性

この製品はPBTまたはvPvBに分類される物質を一切含まない。

### 項目3: 組成及び成分情報

#### 3.2. 混合物

ポリ [ 2 - ( クロロメチル ) オキシラン  
- a l t - 4 , 4' - ( プロパン - 2 , 2 - ジイル ) ジフェ  
ノール ]

60-100%

CAS番号: 25068-38-6

#### 分類

皮膚刺激性 区分2 - H315

眼に対する重篤な刺激性 区分2 - H319

皮膚感作性 区分1 - H317

水生環境有害性、慢性毒性 区分2 - H411

全ての危険有害性情報の全文は項目16に示されている。

### 項目4: 応急措置

#### 4.1. 応急措置の説明

##### 一般情報

皮膚および眼との接触を避ける。事故が起きたときあるいは気分が悪い場合、直ちに医師の診察を受ける ( できればラベルを見せる ) 。

##### 吸入

直ちに被災者を空気の新鮮な場所に移すこと。何らかの不快感が続く場合には医師の手当てを受けること。

##### 経口摂取

口を水で十分にすすぐこと。無理に吐かせないこと。被災者に意識がない場合は、口から何も与えてはならない。無理に吐かせないこと。嘔吐した場合には、嘔吐物が肺に侵入しないよう頭を低くしておかなければならない。直ちに医師の手当てを受けること。

##### 皮膚接触

被災者を汚染源から移動させること。皮膚を石鹸と水で十分に洗うこと。洗った後も刺激が続く場合には医師の手当てを受けること。

##### 眼接触

コンタクトレンズがあれば取り外し顔を大きく広げること。少なくとも15分間洗い続けた後に医師の手当てを受けること。洗った後も刺激が続く場合には医師の手当てを受けること。

#### 4.2. 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

##### 一般情報

記載されている症状の重症度は濃度および暴露の長さに依存して変化する。

## IRABOND BC50 RESIN.

### 4.3. 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

医師に対する特別な注意事項 特定の推奨事項はない。懸念がある場合には、直ちに医師の手当てを受けること。

### 項目5：火災時の措置

#### 5.1. 消火剤

適切な消火剤 泡消火剤、二酸化炭素または粉末消火剤で消火すること。

#### 5.2. 化学品から生じる特定の危険有害性

特有の危険有害性 刺激性のガスまたは蒸気。

#### 5.3. 消火を行う者の保護

消火活動中の保護措置 火災ガスまたは蒸気の吸入を避けること。風上に向かいヒュームを避ける。火災を広げるので棒状水を消火剤として使用しないこと。封じ込めにより流去水を管理して下水道および水路に流入させないようにすること。

消火を行う者を保護するための特別な保護具 陽圧自給式呼吸器 ( SCBA ) および適切な保護衣を着用すること。

### 項目6：漏出時の措置

#### 6.1. 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

人体に対する注意事項 適切に換気すること。流出の近くでは喫煙、火花またはその他の着火源は厳禁。皮膚および眼との接触を避ける。この安全データシートのセクション8に記載の防護衣を着用すること。

#### 6.2. 環境に対する注意事項

環境に対する注意事項 流出物または流去水が排水管、下水道または水路に入るのを防止すること。水路への流出または制御不能の放出は直ちに環境省またはその他の管轄規制組織に報告しなければならない。

#### 6.3. 封じ込め及び浄化の方法及び機材

浄化方法 不燃性、吸収性の材料に流出物を吸収させること。回収し適切な廃棄物用容器に入れて確実に密封すること。回収した流出物を入れた容器には必ず正確な内容物と危険有害性シンボルを標示しなければならない。

#### 6.4. 他の項目の参照

他の項目の参照 この安全データシートのセクション8に記載の防護衣を着用すること。

### 項目7：取扱い及び保管上の注意

#### 7.1. 安全な取扱いのための予防措置

使用上の予防措置 換気のよい場所でのみ取り扱う。熱、火花および裸火から遠ざけること。皮膚および眼との接触を避ける。製品使用中は、飲食及び喫煙を避ける。優良個人衛生手順を実行しなければならない。

#### 7.2. 混触禁止物質を含む、安全な保管条件

保管上の予防措置 密閉した、元の容器に入れて乾燥した、涼しくて換気の良い場所に保管すること。混触危険物質 ( セクション10を参照 ) から遠ざけて保管すること。

#### 7.3. 特定最終用途

特定最終用途 この製品の意図された使用はセクション1で詳しく述べられている。

### 項目8：ばく露防止及び保護措置

成分に関する注釈 成分に対する暴露限界値は知られていない。

## IRABOND BC50 RESIN.

## 8.2. ばく露防止

## 保護具



## 適切な設備対策

適切な全体換気装置および局所排気装置を設けること。

## 眼 / 顔面の保護

リスク評価により眼に接触する可能性が指摘された場合には適切な規格に適合した保護眼鏡を着用しなければならない。次の保護具を着用しなければならない：化学物質飛沫ゴーグル。眼および顔面を適切に保護する個人用保護具を着用しなければならない。

## 手の保護

次の材料で作られた保護手袋を着用すること：ゴムまたはプラスチック。手を化学物質から保護するために、化学物質に対する不浸透性および分解耐性が証明されている手袋を着用しなければならない。選択される手袋は少なくとも8時間の破過時間を有していなければならない。

## その他の皮膚及び身体の保護

接触する場合にはエプロンまたは防護衣を着用すること。

## 衛生措置

洗眼ステーションおよび安全シャワーを設けること。飲食物、動物用飼料から離して保管する。優良個人衛生手順を実行しなければならない。仕事を離れる前に手と他の汚染された身体の部位を石鹸と水で洗うこと。製品使用中は、飲食及び喫煙してはならない。毎日作業場を出る前に作業服を交換すること。

## 呼吸器の保護

換気が不十分な場合には、適切な呼吸用保護具を必ず着用すること。呼吸マスクの選択は必ず暴露レベル、製品の危険有害性および選択した呼吸マスクの安全作業限界に基づいて行わなければならない。呼吸マスクが顔面に密着することおよびフィルタが定期的に交換されていることを点検すること。次のカートリッジを装着した呼吸マスクを着用すること：ガスフィルタ、タイプA2。意図した使用に適した交換可能な吸収缶を装備したハーフマスク式およびクォータマスク式の呼吸用保護具を使用しなければならない。

## 項目9：物理的及び化学的性質

## 9.1. 物理的及び化学的性質に関する情報

外観	液体。
色	無色～淡黄色。
臭い	かすかな臭い。
pH	pH (濃厚溶液) : 7 @ 20 °C
融点	n/d °C
初留点及び沸騰範囲	> 200 °C @
引火点	> 150 °C
蒸気圧	<0.01 Pa @ °C
相対密度	1.16 @ 25 °C
溶解度	水にわずかに溶解性。
分配係数	: >3
自己発火温度	>300 °C
粘度	12-14 Pa秒 @ 25 °C
その他の情報	データ無し。

**IRABOND BC50 RESIN.****項目10：安定性及び反応性**

反応性	酸。強酸化剤。アミン。
安定性	標準周囲温度および推奨条件で使用した場合は安定。
危険有害性反応危険性	データ無し。
避けるべき条件	長時間にわたる過剰な熱を避けること。熱、火花およびその他の着火源を避けること。高温または直射日光への暴露を避けること。
混触危険物質	次の物質との接触を避けること：強酸化剤。強酸。アミン。
危険有害な分解生成物	推奨事項に従って使用および保管した場合には分解しない。

**項目11：有害性情報****11.1. 有害性情報**

皮膚接触	皮膚を刺激する。皮膚接触により感作を引き起こすことがある。
眼接触	眼を刺激する。
急性及び慢性健康危険	製品はエポキシ樹脂を含む。敏感な個人に感作またはアレルギー性反応を引き起こすおそれがある。

**項目12：環境影響情報**

生態毒性	環境中への放出を避けること。製品は水生生物に毒性で長期継続的影響により水生生物に悪影響を生じることがある物質を含んでいる。
毒性	水生生物に猛毒性がある。
急性毒性 - 魚類	LC <sub>50</sub> , 96 hours: ≤10 mg/l, 魚類
急性毒性 - 水生植物	IC <sub>50</sub> , 72 hours: ≤10 mg/l, 藻類
<b>12.2. 残留性・分解性</b>	
残留性・分解性	製品は易生物分解性でない。
<b>12.3. 生体蓄積性</b>	
生体蓄積性	製品は生体蓄積性の可能性がある物質を含む。
分配係数	: >3
<b>12.4. 土壌中の移動性</b>	
移動性	排水管または水路あるいは地表へ放出しないこと。
<b>12.6. 他の有害影響</b>	
他の有害影響	データ無し。

**項目13：廃棄上の注意****13.1. 廃棄上の注意**

一般情報	廃棄物を取り扱う際には、製品の取り扱いに適用される安全措置を考慮しなければならない。
------	--

**IRABOND BC50 RESIN.**

**廃棄方法** 現地の廃棄物管理当局の規定に従い認可された廃棄物廃棄物投棄地点に廃棄物を廃棄すること。

**廃棄物クラス** 08 04 99

**項目 14 : 輸送上の注意**

**一般事項** 製品は危険物の輸送に関する国際規則 ( IMDG、IATA、道路輸送/鉄道輸送 ) の適用範囲に含まれない。

**陸上輸送に関する注意事項** 特例規定 ADR 375 に関する情報については危険物リストを参照。

**鉄道送に関する注意事項** 特例規定 ADR 375 に関する情報については危険物リストを参照。

**海上輸送に関する注意事項** 特例規定 IMDG 2.10.2.7 に関する情報については危険物リストを参照。

**航空輸送に関する注意事項** 特例規定 IATA 375 に関する情報については危険物リストを参照。

**14.1. 国連番号**

該当しない。

**14.2. 品名 ( 国連輸送名 )**

該当しない。

**14.3. 国連分類 ( 輸送における危険有害性クラス )**

輸送警告標識は要求されない。

**14.4. 容器等級**

該当しない。

**14.5. 海洋汚染物質**

**環境有害物質 / 海洋汚染物質**

該当せず。

**14.6. 使用者のための特別予防措置**

該当しない。

**MARPOL73/78 附属書II及び IBCコードによるばら積み輸送** 該当しない。

**項目 15 : 適用法令****項目 16 : その他の情報**

**改訂日付** 2018/04/04

**改訂版** 8

**破棄日付** 2016/11/11

**危険有害性情報の全文** H315 皮膚刺激。  
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。  
H319 強い眼刺激。  
H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

この情報は明示されている特定の物質のみに関連するものでありこの物質を他の何らかの物質と併用したり何らかのプロセスに使用した場合には有効でない場合があります。上記の情報は、弊社の知識および確信のおよぶ限り、標示されている日付の時点において正確かつ信頼性の高い情報です。しかしながら、その精度、信頼性または完全性に関して一切の保証、補償あるいは表明を行うものではありません。各自の特定用途に対する上記情報の適合性に関して確認を行うことは使用者の責務です。